

## 第3部 県民意見、地域ビジョンの改訂から見ためざすべき姿

第3部では、県民主役・地域主導のビジョン、地域ビジョンを反映した全県ビジョンとして、これからの兵庫の将来像やその実現のための取組方向を明らかにするために、県民から寄せられた意見や提案から見ためざすべき姿の方向性と各地域ビジョンの改訂から見えてきた全県に共通し共有すべきめざすべき姿の基本方向を示す。

### 1 県民意見から見ためざすべき姿の方向

#### (1) 県民意見の分析

全県ビジョンの点検・見直しに県民の意見を反映させるため、各種アンケートや意見交換、地域夢会議や兵庫みらいフォーラム、地域での出前ミニフォーラムなどの機会を捉えて県民の意見を集め、平成21年度に構築した意見分析システムである「県民の夢データベース」を活用し、全県に共通する意見と地域特有の意見について分析を行った。

集約した県民の意見は約4万件に上る。この中から、出現頻度が高いキーワード(上位100)を抽出し、それらを県民一人ひとりの「生活」、人や地域の外部からの関わりの中で生じる開かれた地域としての「世界」、県民が住まう場・空間としての「地域」の3つに分類した。そのうえで、キーワードを含む文脈からさらにグループ化して、「今後地域で生じてくる課題や対応していくべき課題に関すること(課題提起)」、「めざすべき姿に関すること(将来像提起)」、「課題への対応やめざすべき姿の実現に向けての取組に関すること(取組提起)」の区分で整理・分析を行ったところ、次のような結果となった。

#### (2) 県民から提起された課題、将来像、取組

##### 課題提起

全県的な視点から、今後地域で生じてくると考えられる課題や対応していくべき課題として出された意見を整理すると次のとおりであった。

(実感できない豊かさと生活の安全安心づくり)

家族の小規模化や家族と社会の縦割り化、男女の役割の変化などから、人と人のつながり方に変化が生じたことで、マナーの欠如やルールの不徹底、少ない子どもの居場所、高齢者の見守り、自殺の深刻化などが指摘され、豊かさの実感できる生活づくりに向け、顔の見えるコミュニティづくりや地域社会全体で共に支えるという考え方の必要性を訴える意見が多かった。また、働くイメージができない若者の多さ、高齢者や障害のある人、女性、若者など各自が望む仕事につける労働体系の未整備、さらには持続的な事業につながらない社会貢献活動などが指摘され、しごとや働き方に関する意識やしくみの変革を訴える意見も多かった。こうしたことから、豊かさを感じられる社会づくりや働き方も含めた生活上の安全安心づくりに向けた対応が課題となってくるといえる。

(グローバル化の中での産業の活性化や多文化共生の地域づくり)

東京への人材や情報の一極集中による地域産業の空洞化の進行、産業がグローバル化する中で重厚長大産業への依存の限界、他国に比べ出遅れ気味の企業の海外進出などが指摘され、多様化する消費者ニーズに対応した商品づくりやサービスの提供、地域ニーズに対応した商店街づくり、外国人が魅力を感じて訪れ、住みやすい地域づくりを進めることを

求める意見が多かった。こうしたことから、世界的な構造変化の中での産業の活性化や多文化共生の地域づくりが課題になってくるといえる。

(地域の活力低下と持続する地域づくり)

人口減少や高齢化が進む中で、地域づくりの担い手不足の深刻化、多自然地域の集落や郊外ニュータウンの急速な衰退、増加するマンションの垂直型コミュニティと既存コミュニティとの融合などが指摘され、地域資源の活用、地域間の交流、交流を促進する人材、地域全体で支え合うしくみづくりを訴える意見が多かった。また、地球温暖化や生物多様性が損なわれていることが指摘され、人と自然との共生や大量消費からの意識改革、農業なども含めた総合的な環境への取組など、環境の保全と創造についての必要性を訴える意見も多かった。こうしたことから、自立・持続する地域づくりに向けた対応が課題となってくるといえる。

**【出現頻度が高いキーワードと主な意見項目】**

<現行ビジョンとの比較で特徴的なキーワード等>  
 ・農：担い手の高齢化、不足に伴う耕作放棄地の増加など、特に多自然地域で顕在化している問題

区分	キーワード	構成比	キーワードを含む主な意見項目
生活	子ども	4.5%	学童の居場所づくり、子どもの安全確保
	学校	2.6	少子化、教育環境の整備、地域との連携、
	高齢者	1.8	住民の高齢化、自治会の衰退、介護、年金
	病院	1.5	医師の不足、病院経営の効率化と弊害
	家庭・家族	1.4	家族の小規模化、子育て家庭への支援
	大学	1.1	地域、地元産業との連携不足、地域に閉鎖的な大学運営
	親	1.0	田舎の親の世話に関する悩み、子育て世代の親の教育
	仕事	0.9	多様な就労の場づくり、人材確保、UJIターン
	医療	0.6	公共医療の崩壊、医療機関へのアクセス確保
	個人	0.5	個人情報保護、つながりの希薄化、個人商店の経営難
	子育て	0.4	働く親の孤立化、核家族化、子育てコミュニティ支援
	介護	0.3	担い手の育成、独居老人の増加、老老介護問題
	事件	0.3	孤立死、自殺、子どもに関する事件、凶悪犯罪の増加
	不安	0.3	若者の将来不安、過疎による地域の空洞化、女性の雇用不安
買い物	0.2	「買い物難民」問題、商店街の衰退	
世界	情報	3.8	東京への情報の集中、情報漏洩、情報発信の人材
	日本	1.2	製造業への依存、グローバル化への対応の遅れ
	消費者	1.0	消費者ニーズ重視、流通の効率化、高齢消費者の動向
	商店街	0.4	シャッター商店街の増加、商店街の活性化、
	外国人	0.2	外国人との共生、子女の教育環境の整備
地域	農	3.0	担い手の高齢化、獣害、消費者の無理解、耕作放棄地
	コミュニティ	2.0	若年層の不参加、担い手不足、マンションコミュニティ増加
	環境	2.0	生物多様性の危機、地球温暖化、森林荒廃
	都市	1.8	ロードサイド型のまち、スプロール、オールドニュータウン

住宅	1.4%	空き家の増加、中古住宅の流動化、工場との隣接
山	1.2	小規模民有林の荒廃、収益効率の低さ
神戸	0.9	まちづくりに寄せるニーズの多様化、震災経験の継承
開発	0.8	ニュータウンの更新、跡地開発、中小企業の研究開発力不足
田舎	0.3	田舎のよさの見直し、UJIターンの停滞、農村の空洞化
ゴミ	0.3	産業廃棄物の処理、不法投棄、家庭ゴミ分別の複雑化
駐車場	0.3	駐車場の不足、未利用地の増加
建替え	0.2	長期的視点に立ったコスト比較、費用負担に関する住民意思の相違

構成比 = 各キーワードの出現数 / 出現頻度の高いキーワード(100)の総出現数

### 将来像提起

今後の兵庫づくり・地域づくりに向けためざす姿として出された意見を整理すると次のとおりであった。

(共に支え合い、安全安心が実感できる豊かで多様な暮らし)

子どもを安心して産み育てることができる社会、食の安全安心が確保された社会など安全安心な社会の実現や、生活の中に豊かな文化が息づいている、思いやりの心を育む生活環境が整っているといった意見が多かった。また、地域内の人と人、地域間のつながりの構築、地域活動団体・NPOなど、さまざまな団体の連携による地域づくり、世代間の縦のつながりの再生、健康で元気な高齢者の地域活動への参加、一人ひとりが自分の役割、存在意義を実感できる社会といった、家族や地域のさまざまな主体のつながりが再生された姿を示す意見が多かった。

(人が育ち集まることで活力や魅力がある世界に開かれた地域)

地域との共生を重視する企業や環境分野で活躍する企業が増加することや、職人技とデジタル技術の融合によるものづくりの革新が実現しているという意見のほか、スーパーコンピュータ、大型放射光施設、X線自由電子レーザーの立地を生かして産業が活性化するとともに、兵庫の防災分野での世界貢献、大学関連人材の活用や体験・参加型観光プログラムによって地域が活性化するなど、兵庫ならではの産業や人材が集まるしかけがあることで活力や魅力がある世界に開かれた地域となっている姿を示す意見が多かった。

(多様な交流・連携により自立した地域)

小さくても元気で美しい村づくりが行われていることや、空き空間を活用する形で地域間交流が進んでいること、自然の中と都会の両方で暮らす生活が増えていくこと、さらには地域コミュニティがそれぞれの地域の資産価値を高めて活性化していることなど、各地域が持つ強み・魅力を十分に発揮している姿を示す意見が多かった。全県的にみると、地域と地域で多様な交流があり、空間や地域資源を有効に活用するとともに、人と自然が共生し、地域が自立している姿というところに共通点が見られる。

【出現頻度が高いキーワードと  
主な意見項目】

<現行ビジョンとの比較で特徴的なキーワード等>  
 ・空き：空き家、空き地等の活用  
 ・つながり：家族、地域などでのさまざまな関係性の再生

区分	キーワード	構成比	キーワードを含む主な意見項目
生活	安全安心	3.8%	子どもを産み育てやすい社会、安心できる食
	住民	3.1	住民の自主性・自立性の高まり、地域住民同士の関係性強化
	生活	1.4	生活に根ざした文化醸成、心を育む生活環境創造
	つながり	1.0	つながりの再構築、多様な主体の連携
	世代	0.9	多世代交流・連携、次世代への継承、
	場	0.9	交流する場、社会参加の場づくり、場の再構築
	事業者	0.7	NPO、住民、行政の適切な役割分担、事業者の社会的責任意識の高まり
	男性	0.6	男性中心の社会の見直し、男性の地域参加
	団塊世代	0.6	スキルが活用できる場づくり、団塊ジュニアの地域参加の促進
	文化	0.5	地域文化の再発見、異文化の理解、文化的価値の見直し
	健康	0.4	高齢者の社会参加、活性化する健康産業
	福祉	0.4	福祉のまちづくり、医療との連携、雇用の拡大
	元気	0.4	元気な高齢者の参加する社会、元気な地域づくり
	豊かさ	0.3	幸せを実感できる社会、空間や人との繋がり再生
	世界	歴史	0.3
希望		0.2	就労機会の拡大、若者世代への支援の強化
企業		1.9	地域ブランドイメージ活用、環境産業、地域貢献
技術		1.0	職人技とデジタル技術の融合、光産業、知的創造拠点
人材		0.6	兵庫ならではの人材育成、大学関連人材の活用
地域	世界	0.5	防災の課題解決、森林クレジット、食の安全安心
	観光	0.2	体験・参加型観光、地域資源の活用、ツーリズム
	集落	2.7	集落間の連携、都市農村交流、普段着の交流、
	地域づくり	1.9	自然との共生、住民主体、ユニバーサル社会づくり
	空き	0.6	空間の余裕として活用、所有と利用の分離
	自然	0.6	付加価値がつく自然環境、生物資源の活用
	資源	0.4	交流が生む人的資源、観光資源活用、資源循環
	エネルギー	0.3	脱化石燃料化、自然エネルギー活用・普及
	交流	1.1	国際交流、技術交流、人材交流の活性化
	淡路島	0.8	「公園島淡路」の実現、ミュージアム構想
	土地	0.7	休耕地での農業の再開、空き地活用によるまちの再生
	阪神間	0.6	公共交通のネットワーク強化、地域間の連携
マンション	0.5	住民の地域活動への巻き込み、コミュニティ強化による安全安心確保	
空間	0.2	地域の交流空間づくり、公共施設の空間活用	

構成比 = 各キーワードの出現数 / 出現頻度の高いキーワード (100) の総出現数

## 取組提起

課題への対応やめざす姿の実現に向けての取組についての意見を整理すると、以下のとおりであった。

### (つながりやゆとりの創出、多様な働き方の実現)

つながりを生む場づくり、女性の社会参加の促進や出産・育児を支えるしくみづくり、独居老人の孤立への対処、子どもが安全安心な地域づくりなど、つながりやゆとりの創出に関する意見が多かった。また、多様な人材が活躍する社会づくり、NPOや社会的起業の活性化など、多様な働き方の実現に向けての環境づくりが提案されている。

### (兵庫・地域を支えるしごとの創出、人材の育成・集積)

地域産品の高付加価値化を通じた産業の育成、ベンチャー企業と大企業とのマッチング、情報通信技術の活用による複数の中小企業の技術共有、成長産業として福祉産業を捉え直す必要性などの意見が多かった。また、地域資源としての商店街の活用や社会貢献型活動のビジネス化による地域を支える新たなしごとの創出に関する取組、また、これまでの蓄積を生かした産業や人材の集積、若者への技術の継承などの取組が提案されている。

### (交流人口の拡大、地域資源の活用、住民主体の地域経営)

集落の将来ビジョンづくりやまちの自主ルールづくり、公共交通を使ったまちなか再生など地域住民が力を結集するしくみづくりや住民主体のエリアマネジメントについての取組、伝統芸能や祭りなどを通じたコミュニティづくりについての意見が多かった。また、多世代参加のイベントや、空き空間を活用した農地づくり、ブランド力のある特産品づくり、森林からの恵みの活用など、地域資源を活用して交流人口を拡大していく取組、さらには、情報通信技術を活用した地域の魅力の世界への発信を通じた地域の活性化など、地域が自立・持続していくための取組が提案されている。

### 【出現頻度が高いキーワードと主な意見項目】

<現行ビジョンとの比較で特徴的なキーワード等>

・人材：産業人材、高度人材、地域づくり人材などの集積、育成

区分	キーワード	構成比	キーワードを含む主な意見項目
生活	人	6.7%	多文化共生社会づくり、地域づくり人材の育成
	参画・協働	3.5	地域力の強化、財政危機への対応
	食	2.7	食料自給率向上、伝統食文化の見直し、食の安全確保、親子への食育
	女性	2.0	子育て支援、女性の地域参加、女性の再就職
	若者	1.3	青少年の居場所づくり、若者の起業しやすい環境づくり
	教育	1.0	教育環境の整備、環境教育、防災教育、地域のよさを知る教育
	相談	1.0	地域に相談相手がいる環境づくり、就労・子育て等の相談窓口
	ボランティア	0.8	まちづくり、若者の参加促進、行政との連携
	インターネット	0.8	インフラ整備、インターネットを利用しない人への配慮
	NPO	0.7	地域とNPOとの連携、NPOの経済的自立支援
	協力	0.5	地域の身近な人の協力、父親の育児への協力
	バス	0.4	コミュニティバスの運営、バス会社の合理化
	関心	0.4	住民の自主的な防犯対策、地域への関心を高める場づくり
	配慮	0.4	住民の環境配慮意識を高める取組、社会的弱者への配慮

	災害	0.3%	復興支援、防災訓練、安全マップづくり、災害情報の伝達
	見守り	0.1	独居老人の見守り、通学時の学童の見守り
世界	技術	1.0	匠養成、高齢者のノウハウ活用、異業種間連携
	産業	0.6	高付加価値化、域外人材活用、福祉産業
	商店街	0.4	一店逸品、地域との連携、公共性の高い空間づくり
	研究	0.4	中小企業の研究開発支援、大学、企業、研究機関の研究での連携強化
	中小企業	0.3	独自技術、バーチャル会社、環境関連投資
	流通	0.2	特産品を生産、加工、流通させる仕組みづくり、不動産の流動化
	ビジネス	0.1	社会ニーズ対応、コミュニティビジネス、ベンチャー企業マッチング
地域	連携	1.4	既存団体の連携、地域内連携、大学と地域の連携
	管理	1.1	指定管理、エリアマネジメント、疎住地の維持管理
	森林	1.0	バッファゾーン創出、集成材生産、排出権との連動
	活性化	0.5	よそ者、変わり者、若者の意見、情報通信技術の活用
	イベント	0.5	多世代参加・交流、初参加者の優遇、SNS活用
	魅力	0.4	世界への発信、物語づくり、歩車共存のまちなみ
	交流	1.1	都市と農村の交流、世代間や地域内交流の促進
	情報発信	0.7	わかりやすい地域情報の発信、正しい情報を即座に届けるしくみづくり
	地元	0.7	地元での就職難対策、意欲的な住民の発掘、地元食材の活用、
	地域活動	0.3	高い意識をもつ担い手の確保、老若男女が参加しやすい場づくり
	公園	0.2	公園空間の活用、住民にとって安全安心な空間の確保と維持
	地域資源	0.1	人的資源の活用、地域資源の発掘や見直し、活用のしくみづくり
	運営	0.5	コミュニティ組織の運営ルールの明確化、組織運営費等の効果的な運用
	水	0.3	防火水槽整備、水害対策、水源地の環境保全
リサイクル	0.1	地域内でのリユース・リサイクルのしくみづくり、リサイクルに配慮したもののづくり	

構成比 = 各キーワードの出現数 / 出現頻度の高いキーワード (100) の総出現数

## 2 地域ビジョンの改訂から見ためざすべき姿

### (1) 全県的に共通し共有すべき基本方向

地域ビジョンは、それぞれの地域の歴史、文化、風土、住民の意識などを反映し、個性豊かな将来像を描いている。

全県ビジョンと同じく、策定から10年を経て、その後生じた地域の変化などを踏まえたものとして、県民誰もが参加できる地域夢会議をはじめ、さまざまな機会での意見交換により、地域像や取組方向の議論を深め、各地域に設置された地域ビジョン委員会が中心となって地域ビジョンの見直しを行った。

なお、阪神南地域と阪神北地域は、合同で見直しに取り組み、両地域で共有できる阪神地域ビジョンとして改訂版をとりまとめている。

#### 【地域ビジョンの見直しの要点】

地域名	改訂ビジョンの理念・将来像等	見直しの視点
神戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像：人々が集い、喜びと感動が共有できる「楽しいまち・神戸」</li> <li>・めざす都市像：「市民自律都市」「フロンティア都市」「コミュニケーション都市」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行ビジョンの将来像、都市像のもと、「安心・安全」「人づくり」「循環型社会」「多文化共生」「経済の活性化」等の方向から、夢提案の内容（取り組むべき方向）を充実させた。</li> </ul>
阪神南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念：市民主体の幅広い社会経済活動を展開する阪神市民文化社会の創造</li> <li>・行動目標：「多様で個性的なライフスタイル」「自律と協働による温かいコミュニティ」「自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境」「豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行ビジョンの基本理念、4つの行動目標のもと、「新しい公」のさらなる発展をめざす視点で、地域に集積する大学や学生・事業者・中間支援型NPO等との連携、阪神ベイエリアの再生、里山の保全と活用、地産地消など、市民社会の具体的な取組等を示した。</li> </ul>
阪神北		
東播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念：水辺・ものづくりのまちで生きる</li> <li>・将来像：「安らぎとぬくもりを感じられる心地いいまち」「自分らしさと生きがいを感じられる楽しいまち」「自然と文化の豊かさを感じられる美しいまち」「誇りと可能性を感じられる力強いまち」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東播磨・北播磨がそれぞれビジョンを改訂することとし、「存在感のある東播磨」をめざし、営みの源となる「水辺」と活力を生み出す「ものづくり」を地域特性とした東播磨で、生き生きと暮らし、育ち、学び、働けることを理念として打ち出した。</li> </ul>
北播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像：ひょうごのハートランド</li> <li>・地域像：「交流が広がる」「生活(くらし)の絆が深まる」「文化が花開く」「恵み豊かな環境が持続する」「元気な産業が興る」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東播磨・北播磨がそれぞれビジョンを改訂することとし、現行ビジョンの将来像のもと、加古川流域で育まれてきた生活文化を中心とする「北播磨らしさ」の発揮と、「みんなが北播磨づくりに参画する」視点を重視して、地域像の見直しを行った。</li> </ul>
中播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本姿勢：人の輪と地域の輪がつながる元気な中播磨をつくらう～つなぐ つながる 銀の馬車道～</li> <li>・4つの夢：希望が育つ、安全安心、自然豊か、元気交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中播磨・西播磨がそれぞれビジョンを改訂することとし、現行の地域の夢の構成要素を維持しつつ、より分かりやすく、より中播磨らしさが出るよう、南北交流のシンボルである銀の馬車道を基本姿勢に明示した。</li> </ul>

西播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本姿勢：～光と水と緑でつなぐ - 元気・西播磨～</li> <li>4つの夢：人の輪社会、安全安心社会、環境王国、きらきら西播磨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中播磨・西播磨がそれぞれビジョンを改訂することとし、災害に強いまちづくり、地域資源を生かしたまちづくり、小規模集落対策など新たな地域課題を反映させ、基本姿勢と4つの夢を見直した。</li> </ul>
但馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>めざすべき方向：あしたのふるさと但馬～コウノトリ翔る郷～</li> <li>将来像：自立の郷、賑わいの郷、癒しの郷、慈しみの郷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬づくりの原点を再確認・再評価するとともに将来像である4つの郷の実現に向けた行動目標（「人づくり」「産業づくり」「誇りづくり」「安心づくり」）を明確化した。</li> </ul>
丹波	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念：みんなで丹波の森</li> <li>5つの将来像：「みんなで創る“自立のたんば”」「都会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”」「やりがいを実感できる“元気なたんば”」「多世代が支え合う“絆のたんば”」「ともに暮らす“安全安心なたんば”」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行ビジョンの理念のもと、将来像について、誰もがわかりやすい方向を明確にし、課題認識を共有でき、課題の解決に協働して取り組めるように見直しを行った。</li> </ul>
淡路	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念：「命をつなぐ“持続可能な島”」「『経済』『社会』『環境』の調和がとれた新たな“幸せ社会”」「環境立島“公園島淡路”の理念の継承と発展」</li> <li>目標：環境立島あわじ～人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”へ～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな視点で淡路の直面する課題を見つめる、淡路島の歴史から見えてくる可能性を見据える、持続可能性をキーワードに本当の幸せについて考える、を視点に理念と目標を見直した。</li> </ul>

見直しが行われた地域ビジョンについて、その将来像を実現するための基本的な理念、めざすべき方向、行動目標などから、全県的に共通し、共有すべきものは以下のとおりである。

### 【元気で豊かな生活の実現】

家庭や地域でのつながりが実感できる社会づくり、地域と関係性を持つ人づくりなど、人と人のつながりや支え合いを重視している。

また、子育て支援や高齢者を見守るしくみづくり、医療・介護・生活支援サービスなど必要な生活機能の確保、ワークライフバランスの実現、ゆとりある暮らしの実現、地域での安全安心の確保など、健康で安心な暮らしを重視している。

さらに、生きがいをもって働ける社会づくり、誰もが経験や能力を生かして活躍できる環境の整備など、しごとや働き方の充実の重要性についても示されている。

地域名	基本方向
神戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における人と人との助け合いの輪や、多様なつながりを築くとともに、地域で活動する担い手が連携し、防災・防犯活動や、高齢者・障害のある人・子育て家庭に対する支援などに取り組める社会づくりをめざしていく。</li> </ul>
阪神南	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民主導の阪神市民文化を地域で生み育てる「地産地育」の推進により、文化や生涯学習、ボランティア等の地域活動が展開する、多様で個性的なライフスタイルを創造するとともに、自律と協働による温かいコミュニティが息づく社会をめざしていく。</li> </ul>
阪神北	

東播磨	・子ども、高齢者、障害のある人等への見守りなど、助け合う力をつなぐことにより、安全安心や地域の絆を実感できる地域、互いを尊重しながら、明るく健康に過ごし、生きがいを持てる地域をめざしていく。
北播磨	・地域での子育てなど、生活(くらし)の絆を深め、助け合い・支え合いなど地域力が安全安心を支える地域づくりを進めるとともに、歴史・伝統文化の継承、音楽・芸術活動の支援など、芸術文化を暮らしに生かす地域づくりをめざしていく。
中播磨	・地域全体での子育て支援、高齢者や障害のある人が生きがいを持って暮らせる地域づくり、安心な医療ネットワークの構築、みんなで取り組む防犯・防災・交通安全の地域づくりをめざしていく。
西播磨	・ふれあいを大切に豊かな人間関係をつくる人の輪社会、住み慣れた地域で共に支え合う安全安心社会などを通じて、ともに生きる地域づくりをめざしていく。
但馬	・安全安心な環境、互いの顔が見えるコミュニティなど地域価値の高まりを受けて、自分の役割、居場所が見つけれられる地域、元気な高齢者がともに支え合う地域など住民主体の地域づくりをめざしていく。
丹波	・子ども・若者・高齢者の各世代がともにコミュニティを支え、誰もが助け合いながら自分の持てる能力を発揮し、開かれた地域社会の一員として、生き生きと暮らしていく地域づくりをめざしていく。
淡路	・すべての人々に役割や居場所があり、生涯現役で暮らせる、家庭においても地域においても一人ひとりが大切にされ、互いに助け合い、支え合って生きることが実感できる、「自助」「共助」「公助」のバランスがとれた島をめざしていく。

### 【世界に開かれた地域づくり】

外国人にも暮らしやすいまちづくり、外国人コミュニティとの相互理解の推進など、多様な文化との交流・共生を拡大・深化させていくことを重視している。

また、人材育成と高度な人材の確保、地域の魅力の世界への発信、地域の資源や技術を生かした産業の創出など、世界とつながるしごとづくりや人づくりについても重視しており、暮らしや産業活動、それに関わる人材育成を通じて、世界に開かれた地域づくりに取り組んでいくことが示されている。

地域名	基本方向
神戸	・神戸で培われてきたイメージ(ブランド)や、多彩な歴史・文化などを生かして、地域経済の活性化を図るとともに、多様な言語や文化が集まる多文化共生のまちとして、いっそう暮らしやすく・住みよいまちづくりをめざしていく。
阪神南	・国際的な生産力・技術力を蓄積している地域特性を生かし「モノづくり」先進地域としての戦略の展開とともに、文化産業、環境関連産業、コミュニティビジネス、社会的起業など新しい分野への挑戦を進めていく。
阪神北	
東播磨	・東播磨の強みである産業集積を生かして国内外に誇れる製品・技術の開発を促進するとともに、地域ニーズに対応したビジネスを起こすことができるよう、生活を豊かにする質の高い「もの・サービス」を創造できる地域をめざす。
北播磨	・地場産業の活性化や地場産品の高付加価値化、環境とエネルギー分野の連携、コミュニティビジネス等による新たな「しごと・働く場」づくりなど、多様な産業が活性化する地域づくりをめざしていく。

中播磨	・がんばる企業や起業家の応援による元気な産業の育成をめざすとともに、地域の魅力を生かしたツーリズムを展開して国際的な交流を深めることをめざしていく。
西播磨	・播磨科学公園都市の研究基盤を生かし、優れた人材が集い先端技術の集積する地域をめざすとともに、工業団地などの都市基盤を活用して、西播磨経済をリードする商工業、流通などのビジネス拠点の形成をめざしていく。また、国際交流を盛んにして多文化共生の地域づくりをめざしていく。
但馬	・コミュニティビジネスなど新たな起業を支援するとともに、環境共生先進地として環境配慮企業の誘致、集積により新たな地場産業の形成をめざしていく。
丹波	・農林業が地域の産業をリードするとともに、食・自然をはじめとした魅力が広く知られ、多くの「丹波ファン」が訪れる地域づくりをめざしていく。また、地元で働く若者など、住民の活躍の場を広げていく。
淡路	・食と農を生かした国際的な交流拠点づくりなど、地域資源を生かした付加価値の高い産業を生み出すとともに、国内外の地域と国際的なネットワークづくりをめざしていく。

#### 【地域が自立・持続するしくみづくり】

交流人口の拡大、地域間の多彩な交流や連携、空きを活用した地域の活性化、身近な自然・歴史文化など地域固有の資源の再評価や活用、多様な主体が参画した地域の交流・連携による支え合いにより、地域が自立・持続するしくみづくりを重視している。

また、循環型社会の実現、豊かな自然や快適な都市づくりなど、環境の保全・再生・創造についても重視している。

地域名	基本方向
神戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然が身近に備わる神戸の特性を生かし、販路の拡大（地産地消の推進）や体験交流など、地域の農業・漁業が直接実感できる、また、自然との共生のシンボル六甲山の豊かな自然を生かし・楽しむことができるまちづくりをめざしていく。</li> <li>・自然の循環を尊重し、自然環境に負荷をかけない市民主体の社会づくり（循環型のライフスタイルづくり）をめざしていく。</li> </ul>
阪神南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、団体、行政などの対等なパートナーシップのもとに、連携と相互補完のネットワークを進めることで、幅広い分野での地域活動が自発的に機能するしくみづくりをめざしていく。</li> </ul>
阪神北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なライフスタイルを支える質の高い都市機能を生かしながら、良好な居住環境の維持、都市近郊農業の地産地消、都市の中での自然豊かな空間創造するなど、自然と豊かに調和した安全で快適な都市環境をめざしていく。</li> </ul>
東播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな水辺地域とそのつながりを大切に守り、生かしていく取組を推進するとともに、資源の循環を促し、地域と未来にやさしい生活様式の構築をめざしていく。</li> <li>・地理的優位性やアクセスのよさを生かすとともに、埋もれている東播磨の地域資源を掘り起こすなど、資源の再発見・ネットワーク化を通じて、人・もの・情報の交流により魅力とにぎわいをつくり、活力を生み出すことをめざしていく。</li> </ul>

北播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然・観光資源・農地・文化資源など、交流資源を全面に押し出し、その価値の再評価、質の向上により、交流人口の拡大につなげることをめざしていく。</li> <li>・資源循環を推進するとともに、ため池、水田、森林など豊かな自然と生態系の調和した豊かな暮らしを持続する地域をめざしていく。</li> </ul>
中播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を生かし地域間の交流を深めるとともに、祭り等の伝統・文化など、地域の魅力を発信・発掘することをめざしていく。</li> <li>・地球環境を守るライフスタイル、山・川・海のネットワーク化など、資源環境の営みを大切にする地域づくりをめざしていく。</li> </ul>
西播磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然環境、伝統文化など地域資源を生かした交流を進めるとともに、県際交流を盛んにする。</li> <li>・ものが大切にされる「循環型社会」づくりや地球環境を守るライフスタイルへの転換をめざすとともに、西播磨のなごさや豊かな森を舞台に自然環境を守る地域づくりをめざしていく。</li> </ul>
但馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとをもたない都市住民の身近なふるさととして、継続的な交流人口を確保するとともに、豊かな自然環境の中で子育てや生活を求める移住者の増加を図るなど、持続可能な地域づくりをめざしていく。</li> <li>・人と自然の共生が進んだ多自然地域ならではのライフスタイルをめざすとともに、農をベースとした生活など農の新たな価値を重視して風土・景観形成の保全をめざしていく。</li> </ul>
丹波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自らが歴史文化、暮らしなどの地域の魅力に気づき、地域への誇りや愛着を高めるとともに、豊かな自然、全国に誇る丹波ブランド、都会に近い田舎という利点を生かした都市との交流をめざしていく。</li> <li>・環境に優しい農業などを通して環境に負荷をかけないライフスタイルを提案するとともに、都市住民や企業等との連携を一層強めながら、森・川・里の豊かな自然環境の保全と活用をめざしていく。</li> </ul>
淡路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における「参画と協働」を進め、地域の担い手、ビジネスリーダー、オピニオンリーダーなど淡路の未来を託せる人材を育て、地域資源を生かし、地域内外との連携をとりながら、新たな価値観と豊かな発想で付加価値の高い産業を生み出す。</li> <li>・自然、歴史、生活、文化に育まれた淡路らしい景観を守り育てるとともに、物品やサービスの地産地消の推進、エネルギーの自給と自治をめざしていく。</li> </ul>

## (2) めざすべき姿の実現に向けての要点

これらの地域ビジョンが描きなおす地域像や目標をはじめ、ビジョン実現に向けた取組などを全県ビジョンに反映させ、兵庫のめざす姿を描き、その実現を図るための取組の方向を見出していく必要がある。

地域ビジョンの見直しから見えてくるこれらの要点は、まず、人と人のつながりや支え合いで、健康で安全安心な暮らしやすい地域づくりをめざすとともに、地域資源を活用したしごとや働き方の充実で地域の元気づくりをめざしていくことであった。

また、多様な文化との交流・共生やそれぞれの地域の強みをもった産業活動の展開、それらを支える優れた技術をもった人材の育成と集積を通じて、世界に開かれた地域づくりをめざしていくということであった。

さらには、少子高齢化や人口の減少・偏在により、県土空間や地域資源が損なわれることや地域の活力の低下が懸念されることに對し、地域社会を構成する多様な主体が協働し、地域内外との交流・連携による補い合うことで、安心して生活できる持続可能で自立した地域づくりをめざしていくことであった。

地域資源や地域特性に応じて、各地域で重点を置く方向は異なるものの、それらについては、全県的な視点から地域間の交流・連携、適切な役割分担などを通じて「兵庫のめざす姿」として調和を図り、各地域の将来像の実現をめざしていく。